

科目名 プレゼンテーション技術演習（一）（2単位）

担当者氏名 山崎雅夫、宮地竜郎、妙田貴生

◆学習・教育目標

プレゼンテーション(presentation)という言葉は、一般的には企画を提案するという意味や、意見や主張を発表する意味で用いられる。望ましいプレゼンテーションとは、「限られた時間の中で、情報を相手にわかりやすく正確に伝えることによって、相手の理解を深め、それによって判断や意思決定をしてもらい、こちらの提案を受け入れてもらえるようなプレゼンテーション」である。本講義ではプレゼンテーションの概要を理解し、プレゼンテーションに必要な基礎技術の習得を通じて、最終的には課題演習的にPowerPointで作成したものを液晶プロジェクタおよびポスターによりプレゼンテーションするところまで行う。

◆取り扱い領域(キーワードで記載)

プレゼンテーション	PowerPoint	OHP	液晶プロジェクタ
パソコン	Excell	Photoshop	ポスター発表

◆授業の進行等について(単位制度に基づく授業の進行予定・内容)

回数	テーマ	内容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1-5回	プレゼンテーションとは(宮地)	プレゼンテーションの概要を理解する。特に、プレゼンテーションの目的、必要な準備、話の構成について学習する。	オムニバス形式
6-10回	発表ツール(山崎)	プレゼンテーションに必要な各種発表ツールに対して習熟する。	オムニバス形式
11-15回	発表演習(妙田)	液晶プロジェクタおよびポスターによるプレゼンテーション演習を実施する。	オムニバス形式

◆教科書及び資料(授業前に読んでおくべき本・資料)

書名／著者／発行所(発行年)

資料を配布

◆授業をより良く理解するのに便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所(発行年)

◆評価の方法(レポート・小テスト・定期試験・課題等のウェイト)

出席とレポートまたは課題で評価する。

◆その他受講上の注意事項

受講生がおこなう学会発表やゼミ等に授業を振り替えることがあります。